

## 六次産業化・地産地消法認定総合化事業計画一覧

認定年月	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
2016年4月	手賀沼周辺の旬の野菜等を活用した農家レストラン事業	隣接する「道の駅(直売所)」や手賀沼周辺を訪れる顧客をターゲットに、自社及びネットワークを結ぶ農家が生産する地元の野菜を中心とした食材を使用した農家レストラン(テイクアウトコーナー併設)を新設し、サラダバイキングを全面に打ち出したメニューを提供することにより、隣接施設との相乗効果による売上げの拡大や、地域生産者の所得向上、雇用の創出を図る	株式会社沼輪			千葉県	柏市
2016年5月	新たに整備する学習型苔農園での乾燥ミズゴケの加工販売及び生苔の増産販売	現在輸入に依存している園芸資材の乾燥ミズゴケを自社で製造・販売するため、新たにミズゴケを生産する圃場を設置し、栽培から乾燥、販売まで一貫して行う。また、造園業者等から増産の要望が強い園芸用生苔(フロウソウ、スギゴケ、ハイゴケ等)についても、新たに圃場を整備し生産を拡大する。 併せて、新設圃場では来場者に苔の育て方や管理方法等を説明し対面による注文販売を行うとともに、これら圃場を苔の生態を学ぶことができる学習型農園と位置付け、経営の発展と雇用拡大を図る。	株式会社モスファーム			静岡県	富士宮市
2016年6月	栃木県産の大麦・桑の葉等を活用育てた「ダチョウ肉」の「ソーセージ」加工・販売事業	地域の特産品である桑の葉や栃木県産の飼料(大麦・大豆等)で育てたダチョウ肉を用いた「ソーセージ」の開発・販売を行う。ダチョウ肉は低カロリーであることから、健康や美容の意識が高い消費者をターゲットとし、手軽に楽しめるソーセージを提案することにより、ダチョウ肉の知名度アップを図り、自圃場の経営の安定、所得の向上を目指す。 併せて、だちょうの飼料(桑の葉)及び新商品の副原料(はとむぎの実)を使用することにより、地域の活性化と地域ブランドの向上を図る。	小山だちょう園片柳 雄大			栃木県	小山市
2016年6月	希少な純国産鶏「もみじ」の有精卵を生かした「那須の子宝たまごの贅沢プリン」の開発・販売事業	パン屋「ふくら」を開業したが、原料の鶏卵の品質に満足できず、自ら養鶏業を開始し、平飼いに適した鶏である「もみじ」を導入し有精卵として採卵した卵を「那須の子宝たまご」として販売したところ、消費者の評価は高かった。 この「那須の子宝たまご」を活用し、「那須の子宝たまごの贅沢プリン」の開発を行い、ターゲットを「20代～30代の働く女性」及び「子育て世代の母親」として、県内の道の駅や直売所での販売、イベントでの出張販売、インターネット通信販売により、所得の向上と付加価値の高い農業経営を目指す。	浅野鶏卵浅野晃子			栃木県	那須郡那須町
2016年11月	農場HACCPや静岡県認証等を取得し、関東生乳品質改善共励会において上位入賞した牧場から供給される富士宮産生乳のみを使った富士山をブランドイメージとする牛乳・ヨーグルトの商品化	静岡県富士宮市の酪農家が、地元産生乳を原材料とした牛乳・乳製品を製造・販売することで、畜産物の地産地消及び付加価値向上を目指す事業	富士の国乳業株式会社			静岡県	富士宮市

## 六次産業化・地産地消法認定総合化事業計画一覧

認定年月	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
2016年12月	いちご「真紅の美鈴」をメインとした新商品開発と販売による経営の安定と拡大	自ら生産するいちごの規格外品等を利用し、[真紅の美鈴]のみを使用した「ジャム、スムージー」と、[その他複数品種]を混合使用した「スムージー」の製造・販売を行う。販売は、自家農園に直売所兼カフェを建設し、農園来訪者を主なターゲットに、経営の拡大とともに周辺地域と連携しながら地域の活性化を図る。	浦部 和宏			千葉県	茂原市
2016年12月	3年熟成した生ハムのオイル漬けの開発、販売による売上と販路の拡大事業	自家飼育の柏幻霜ポークで製造した3年熟成生ハムの原木をブロック販売する際に生じる端材を有効利用した「生ハムのオイル漬け」の開発・製造を行い、新たな販路の開拓並びに売上の拡大を図る。併せて、既存商品（生ハムとサルシッチャ（生ソーセージ））の販路拡大を図り、精肉の直販率を高め収益性の改善を図る。	株式会社惣左衛門			千葉県	柏市
2016年12月	自ら生産したにんにくを活用した黒にんにくの製造・販売事業	自ら生産するにんにくのうち、生鮮として販売できない変形球や不完全球等を有効利用して「黒にんにく」の製造を行い、高齢化社会に対応した商品として健康志向の強い消費者をターゲットに販売し、経営の複合化と所得の向上を図る。	伊藤 栄			千葉県	山武市
2016年12月	耕作放棄地を利活用した長生郡産玄そばのそば粉及び乾麺商品開発販売事業	顧客等からの要望や消費者の需要動向を踏まえ、既存商品のそば粉に比べ「粒子を細かくしたそば粉」の製造及びこのそば粉を使用した既存商品より「細い乾麺」の商品化を行い販売することで、所得の向上を図るとともに地域で増加している耕作放棄地を利活用し地域経済の活性化を図る。	農事組合法人ながいき集落営農組合			千葉県	長生郡長生村
2016年12月	伝統野菜等を活用した新商品開発・販売による地域活性化事業	信州の伝統野菜である「[野沢菜の未利用部（かぶ）]」を有効利用した粕漬け」及び「[松本一本ねぎ]の炙り粕漬け」、長野県伊那市の旧高遠藩に由来をもつ「とうがらしを使った酢漬け」を製造・販売することで、冬期間の収入と通年雇用を確保し、経営の安定と地域の雇用を増加させ、地域への貢献及び地域活性化につなげる。	有限会社ぱぱな農園			長野県	伊那市

## 六次産業化・地産地消法認定総合化事業計画一覧

認定年月	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
2017年1月	「りんご」生産地のワイナリーという強みを活かしたアルコール飲料の商品開発及び販売による地域ブランド化事業	自社農園のりんごを活用して、新たにシャンパンの製法と同様のトラディショナル方式による高付加価値化を図ったシードルとブランデーの製造・販売を行うことにより、経営の更なる発展を目指す。直営店、地元の酒店及び飲食店のほか、ホテルや結婚式場での乾杯用として売り込むとともに、観光客への販売を足がかりに販路を全国へ拡大し、果樹産業を盛り上げることで地域活性化と発展に寄与する。	信州まし野ワイン株式会社			長野県	下伊那郡松川町
2017年3月	若山農場産のたけのこを使用した加工品の開発・販売事業	管理された平地林で生産した自社産たけのこを活用した加工品「たけのこの水煮、和風メンマ」の開発・販売を行う。販売にあたっては、自社併設の直売所や道の駅等での消費者向け小売販売のほか、外食店等の業務用の需要も開拓する。旬の短いたけのこを加工し通年販売することにより、所得の向上及び経営の安定化を図りつつ、観光農園シーズン（春秋）外でも「竹」を総合的に楽しめる空間作りを実施する。	株式会社ワカヤマファーム			栃木県	宇都宮市
2017年3月	自家生産玄そばを使用した「日光鶴亀手打ち蕎麦生麺」と「日光鶴亀蕎麦プリン」の開発および販売事業	自ら生産した玄そばを活用し、「そば生麺」と「そばプリン」の開発・販売を行う。新たに3期作に取り組むことにより、玄そばの生産性の向上を図りつつ、日光市を訪れる観光客等に対し、年3回味わうことができる「新そば」を訴求しながら、既存の自家そば店舗や道の駅等で販売を行う。これにより、所得の向上、経営の安定化を目指すとともに「日光そば」のブランド力の向上及び地域の活性化を図る。	半田耕一			栃木県	日光市
2017年3月	那須高原で育てた青じそを使った新商品開発・販売事業	自ら生産した青じそを活用し、「青じそ漬け物加工品（青じそ辛味漬け、青じそさっぱり漬け、青じそニンニク漬け、しその実漬け）」の商品開発を行う。商品コンセプトを「那須高原の豊かな自然に育まれた青じそをご飯のお供や薬味として手軽にいただける健康惣菜」とし、那須高原を訪れる家族連れやシニア世代、栃木県内の道の駅を訪れる主婦層をターゲットに販売することで、冬期の収益改善を図り、所得向上と経営の安定化を目指す。	青葉屋 平山輝貴			栃木県	那須郡那須町